

(別 紙)

平成27年度 動物愛護管理功労者 大臣表彰の受賞者

受賞者	アイダ ヤスヒコ 会田 保彦 (71歳) 埼玉県  学校法人 ヤマザキ学園 教授
功績概要	<p>○ 昭和58年以来、(公財)日本動物愛護協会職員及び役員として、国や自治体等の動物関係委員会の委員を歴任。活発な講演・執筆活動により、動物愛護思想の普及啓発に寄与してきた。</p> <p>○ 平成15年5月に「緊急災害時動物救護マニュアル」を作成し、行政機関や各地方獣医師会等に無償配布。その後の新潟県中越地震や東日本大震災で活用された。</p> <p>○ 平成23年3月に「動物救護ボランティアテキスト」を作成。災害に備えた具体的な対応策として、獣医師、獣医学生、動物看護大学生、動物専門学校生等を対象とした専門ボランティア育成の教材として活用されている。</p>

受賞者	ヤスダ サチコ 安田 幸子 (76歳) 東京都  公益社団法人 日本動物福祉協会 理事
功績概要	<p>○ 昭和57年の(公社)日本動物福祉協会の理事就任時から、優れた語学力を生かし、諸外国の先進的な動物福祉精神を同協会に取り入れることに尽力した。</p> <p>○ 平成3年5月に発生した雲仙普賢岳災害や平成7年1月の阪神淡路大震災の際には、資金担当理事として動物救済基金を組成し、被災動物の救済に貢献した。</p>

<p>受賞者</p>	<p>タカハシ トオル 高橋 徹 (67歳) 北海道  公益社団法人 北海道獣医師会 会長</p>
<p>功績概要</p>	<p>○ 昭和 55 年より、負傷した所有者不明の犬猫の治療及び傷病野生動物の救護をボランティアとして開始し、北海道が当該活動を事業化する先鞭をつけた。</p> <p>○ 平成 16 年 9 月には札幌市小動物獣医師会会長として、道内初の大規模な動物愛護フェスティバルを開催し、現在までその運営に関わり発展させることを通じて、道民の動物愛護意識の高揚や動物の適正飼養の知識の普及啓発に貢献してきた。</p> <p>○ 平成 16 年の北海道動物愛護推進協議会設立時から同協議会の座長を務め、道内の動物愛護管理行政と民間との協同の推進について、中心的な役割を果たしてきた。</p>

<p>受賞者 (団体)</p>	<p>トチギケンジュウイシカイ 公益社団法人 栃木県獣医師会 (栃木県)</p>
<p>功績概要</p>	<p>○ 昭和 23 年に県獣医師会設立。昭和 41 年からの狂犬病予防注射事業の実施、昭和 53 年からの傷病鳥獣救護獣医師診療事業への協力などを通じ、栃木県における動物愛護管理行政に貢献してきた。</p> <p>○ 平成 13 年からは県内の学校を訪問し、学校飼育動物に対する飼育指導を延べ 680 回、ふれあい授業を延べ 682 回実施するとともに、平成 16 年より学校飼育動物の適正飼養指導研修会を 69 回行うなど、動物の適正管理の推進や動物愛護思想の普及啓発に貢献してきた。</p>